

平成28年(2016年)熊本地震 に対する佐賀県の対応



平成28年4月26日

佐賀県 政策部 危機管理・報道局

平成28年(2016年)熊本地震で
犠牲となられた方々に対し、
謹んで哀悼の意を表し、
御冥福をお祈りしますとともに、
被災者の皆様方に、
心からお見舞いを申し上げます。

平成28年熊本地震(本震)の概要

- 発生日時 平成28年4月16日 午前1時25分頃
- 震央地名 熊本県熊本地方
- 震源の深さ 約12キロメートル (暫定値)
- 地震の規模 マグニチュード7.3 (暫定値)
- 県内の震度(震度5弱以上)
 - 〔震度5強〕 佐賀市、神埼市、上峰町
 - 〔震度5弱〕 小城市、みやき町、白石町

【参考】一連の地震に係る最大震度

- H28.4.14 (M6.5) 〔震度7〕 熊本県益城町 (震度計損壊)
(4/20気象庁発表)
- H28.4.16 (M7.3) 〔震度7〕 熊本県益城町、西原村

地震発生後の佐賀県の対応

1. 情報収集・対応体制の整備

○ 4月16日(土)

- AM 1:25 県内で地震（震度5強）発生
県災害警戒本部設置 [本部長：副島副知事（防災監）]
- AM 2:30 第1回県災害警戒本部会議
- AM 4:00 第2回県災害警戒本部会議
- AM 7:00 第3回県災害警戒本部会議
- AM 10:00 第4回県災害警戒本部会議
- PM 1:00 第5回県災害警戒本部会議
- PM 5:00 第6回県災害警戒本部会議

○ 4月17日(日)

- AM 8:00 第7回県災害警戒本部会議、警戒本部廃止
(引き続き情報収集を行うとともに、熊本県・大分県
への支援を確認)

地震発生後の佐賀県の対応

2. 熊本県に対する主な支援状況① (人的支援)

平成28年4月25日現在

区分	支援状況	支援内容
緊急消防援助隊	これまでに、 計17隊59名を派遣 (4/24 全隊が活動終了)	益城町、南阿蘇村等で捜索 や救急・救助業務に従事
DMAT (災害派遣医療チーム)	これまでに、 計14隊66名を派遣 (4/22 全隊が活動終了)	被災病院支援、転院搬送等 (熊本赤十字、阿蘇医療セ ンター等)
DPAT (災害派遣精神医療チーム)	これまでに、 計3隊13名を派遣 (4/25 全隊が活動終了)	被災者への医療支援 (熊本県精神保健福祉センター等)
JMAT (日本医師会災害医療チーム)	計3隊13名を派遣 (現在、1隊4名を派遣中)	被災者への医療支援 (熊本市・益城町避難所)
公衆衛生医師・保健師チーム	現在、計1隊2名を派遣中	避難所等の公衆衛生管理支援 (阿蘇保健所管内)

地震発生後の佐賀県の対応

2. 熊本県に対する主な支援状況②（人的支援）

平成28年4月25日現在

区分	支援状況	支援内容
保健師チーム	これまでに、 計3隊9名を派遣 (現在、1隊3名を派遣中)	被災者の健康相談（宇城保健所管内避難所）
リエゾン（現地連絡員）の派遣	これまでに、 情報収集担当職員を 計14名派遣	<熊本県>計4班8名を派遣 (⇒現在、1班2名を派遣中) <西原村>計1班2名を派遣、活動終了 <大分県>計2班4名を派遣、活動終了
現地応援職員の派遣	現在、計53名を派遣中	<熊本県>10名派遣中 <西原村>43名派遣中（県・市町合同チーム） ○災対本部や避難所、コールセンターの運営 ○現地のニーズ調査、物資の仕分け業務 等
獣医師の派遣	現在、計2名を派遣中	愛護動物（家畜やペット等）の救護支援

地震発生後の佐賀県の対応

2. 熊本県に対する主な支援状況③（人的支援）

平成28年4月25日現在

区分	支援状況	支援内容
被災建築物危険度判定士の派遣	これまでに、 計12名を派遣	被災建築物に係る危険度調査の支援
被災宅地危険度判定士の派遣	これまでに、 計2班6名を派遣 (現在、1班3名を派遣中)	被災宅地やのり面、排水施設等に係る危険度調査の支援
県内医療機関への患者受け入れ	これまでに、 計100名を受け入れ	慢性期（400名）、人工透析（68名）患者を受け入れ可能

地震発生後の佐賀県の対応

2. 熊本県に対する主な支援状況④ (人的支援)



「国と熊本県の合同対策本部会議」 [4/17午前開催]
(熊本県庁リエゾンによる情報収集)



熊本県西原村の避難所
(現地応援職員による物資の仕分け)

地震発生後の佐賀県の対応

2. 熊本県に対する主な支援状況⑤ (物資支援)

平成28年4月25日現在

区分	支援状況	支援内容
物資支援	熊本県からの要請を受け、右物資を搬送	[九州・山口9県災害時応援協定] ・アルファ米 (5,000食) ・飲料水 (6,000本) ・パン (2,000食) ・毛布 (4,000枚) ・簡易トイレ (500個) ・タオル (800枚) ・ブルーシート (600枚) 等
		[九州・山口9県災害時愛護動物救護応援協定] ・ケージ(ペット用おり) (19個) ・輸送用かご (10個) ・動物用医薬品(寄生虫駆除薬) 等

地震発生後の佐賀県の対応

2. 熊本県に対する主な支援状況⑥ (避難者の受け入れ)

平成28年4月25日現在

区分	支援状況	支援内容
公営住宅	受入可能戸数 (県営住宅) 計 1 4 8 戸 (市町営住宅) 5 3 戸 9 5 戸	4月21日に、「被災者住宅支援窓口」を建築住宅課内に設置 ※14世帯37人受入済(県・市町)
旅館・ホテル	1日あたり約200～1,800人の受け入れが可能	4月25日までの受入実績 ・365人 主な受入地域と受入実績 ・嬉野市：129人 ・佐賀市：82人 ・唐津市：60人

※ 県としては、このほか職員宿舎等の活用及び福祉施設、企業の研修施設等との連携についても調整中。

平成28年熊本地震被災者支援ホームページ

http://www.pref.saga.lg.jp/web/kurashi/_1270/_96525.html



<主なコンテンツ>

- 佐賀県相談窓口一覧
- 避難者支援に関する情報
- 支援物資、義援金に関する情報
- ボランティアに関する情報
- 職員派遣に関する情報
- 県内市町の支援情報

など

- 県では、平成28年4月18日に、このたびの地震に係る「被災地支援本部」を立ち上げ、被災者や被災地の真のニーズを先読みし、それを的確にくみ取った支援を展開しています。
- 支援の展開に当たっては、九州の中でも同じ「肥の国」の仲間として、佐賀県民一丸となって、一日でも早く被災された皆様が安心して生活できるよう、力を尽くしていきます。